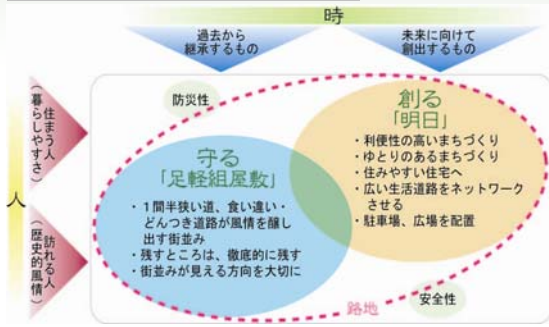


あすかる 明日軽まち ～路地がつなぐ人と時～

まちづくりのコンセプト



ふたつの顔をもつ、芹橋地区の整備

あすかる 明日軽まち～路地がつなぐ人と時～

この地区の大きな魅力は、歴史的風情が残る町並みとそこに暮らす人々の生活感である。これからも守り続けるものと明日へ向かい創りだすもの。双方を融合させることにより、1間半の路地に足を踏み入れたとたん、足軽たちの活躍した時代と現代とを行き来できるような「住まう人の日常」と「訪れる人の非日常」とを結ぶまちを創出する。

グランドデザインの方針

- 新しい生活道路の配置は、町全体へ適性に配置するが、食い違い・どんつき道路の形状にする。
- 新しい生活道路は、現道の拡幅だけではなく空地の裏側にも配置し、町並みを壊さないようにする。
- 新しい生活道路のどんつきには転回広場を配置する。
- 堤防から見通せる位置には新しい道路をできるだけ配置しない。
- 駐車場は保全する町並みから離れた場所に配置する。
- 駐車場は、緑のオープンスペースでもある。



守る 足軽組屋敷 古い建築物、狭い道、食い違い・どんつき道路など、善利組屋敷の風情を今に伝える歴史的町並みを保存・継承したまちづくりとする。ルートは設定せず迷路のように散策して江戸時代へタイムスリップ！



歴史的建造物の風情を活かす



地区の観光スポットの保存



歴史を感じる1間半の路地の保存



芹川からの町並みを大切に

創る 明日 芹橋地区の風情を活かしながら、安心・安全に暮らせるよう、居住環境の向上を図る。また、住んでみたくなるようなまちづくりを展開し、活性化につなげる。



地区の顔となる観光案内施設



駐車場と転回広場の確保



広い道路で利便性防災性の向上



空き地を利用したオープンスペース

住まい方の提案 芹橋の歴史的景観を守りながら、ここに住まう人々の暮らしの利便性、安全性、快適性を向上させる。

- ①住まう人の日常利用(生活面): 城下町の形態を活かした新しい生活道路と住民用駐車場を確保する。オープンスペースを創出して交流やすれ違いの場とする。
- ②住まう人の非常時利用(防災面): 広い生活道路を設けて緊急車両の進入を可能とする。随所にオープンスペースを配置し避難場所等の防災機能を充実させる。
- ③絵になるまちなみを活力に利用(景観面): 善利組足軽俱樂部などの市民活動を活かし、地区の歴史的風情や芹川と町並みの景観を大切に次世代へと継承していく。

観せ方の提案 訪れた人々に感じてもらえる魅力を保存・創出する。

- ④このまちに訪れる人の利用(観光面): 観光案内施設や来訪者用駐車場の整備の他、江戸時代の風情を楽しめるまちづくり。

新しい住まい方の提案 住んでみたいと思えるまちづくりを行う。

- ⑤新しくこのまちに住まう人の利用: 空き地を活用したり空家をリニューアルした建築物を利用し、コミュニティカフェや町屋シェアハウスを設ける。

整備手法 芹橋地区に合うように区画整理手法の良いところを柔軟に活用して確実に実現する。

- ①地区計画 ②やわらかい土地区画整理事業+単独事業 ③建築基準法第42条第3項 により芹橋地区に合った整備を行う。